

**国の新たな制度「容量市場」が始まります。**  
**その新制度に対応するために2024年4月より**  
**約款および電気料金の一部を改定いたします。**

容量市場とは？

容量市場とは将来にわたって電力の供給力を確保するための制度で2020年に創設されました。国全体で必要とされる供給力を確保するために、発電所の新設・施設改修等の費用を「容量市場拠出金」として一般送配電事業者・小売電気事業者が2024年4月より負担し、電力の安定化を実現させるための制度です。

詳しくは電力広域的運営推進機関が開設しております、「容量市場かいせつスペシャルサイト」をご確認ください。

サイトURL:電力広域的運営推進機関 容量市場かいせつスペシャルサイト  
<https://www.occto.or.jp/capacity-market/shikumi/capacity-market>

容量市場によってどうなるの？

電力の供給が安定することにより、月々の電気料金の安定化や電力市場価格も安定化し、市場価格に連動する電源調達調整額の価格が低くなることが期待されます。

## 改定内容

容量市場開設に伴い、2024年4月ご利用分(2024年5月請求分)より以下のとおり改定いたします。

### 低圧のお客さま

従来の電源調達調整単価の算出方法を改定いたします。

電源調達調整単価 =

$$\{(JEPX単価 \div (1 - 損失率) + 託送単価) - (電力料金単価 + 燃料費調整単価)\} \\ + \frac{\{容量市場拋出金単価 - (基準市場単価 - 平均市場単価)\}}{\begin{matrix} ※1 & & ※2 & & ※3 \end{matrix}}$$

※1 容量市場拋出金単価・・・弊社が毎月定める単価(HP上に毎月公開)

※2 基準市場単価・・・請求月前月における前年同月の市場単価

※3 平均市場単価・・・請求月前月の市場単価

※基準市場単価・平均市場単価はJEPXエリアプライスの24時間平均です。

※(基準市場単価 - 平均市場単価)または

{容量市場拋出金単価 - (基準市場単価 - 平均市場単価)}が負の値の場合は0として計算し、算出された電源調達調整単価が負の値の場合は電源調達調整額の適用はありません。

容量市場拋出金を反映するにあたり、市場が安定し、前年同月の市場価格より市場が下回っていれば、その差額分はご請求する容量市場拋出金単価から減額いたします。

※高圧のお客さまは別途案内しておりますお知らせページをご確認ください。

詳しくは当社約款をご確認ください。